

謝辞

特に2・3・4章については、亀田総合病院と沖縄県立中部病院のクレーム対策担当の皆さんに資料を提供していただくなど大変お世話になりました。このように、さまざまな形でもたらされるクレームをきちんと分類し、保存し、必要に応じて抽出し、さまざまな今後の対策に生かす姿勢をきっちり貫いているセクションが自分たちの職場に存在することは、漠然と知ってはありましたが、これほど整備されたものであるとは、今回の資料提供のお願いに際して初めて知りました。ありがとうございます。

外来研修の執筆にご協力いただいた山本万希子先生（亀田総合病院リウマチ膠原病内科）、そしてコメディカルの立場からご協力いただいた前泊朋子師長（現沖縄県立精和病院師長）、仲間千賀子主任をはじめとする沖縄県立中部病院外来担当の看護師の皆さん、クラークの皆さん、それに検査技師や薬剤師の皆さんには、資料提供や筆者ら自身を含む外来担当医師に対するさまざまな提言をいただき、大変お世話になりました。今後もいろいろなご意見をいただくことで、さらなる本書の充実につなげていきたいと考えています。この場を借りて深謝いたします。

岸本暢将
篠浦 丞